



8月に第2回アンケートを行いました。アンケートをなぜ行うのかというと、塾生のみなさんの状況や課題を把握し、感想や意見・要望の声を聞くことで、うわじま土曜塾が塾生のみなさんにとって、よりよい場所となるようにするためです。また、その声は私たちスタッフにとって、がんばっていこうというモチベーションを高めてくれるものでもあるのです。アンケートの中には、少しずつ勉強がわかるようになったこと、スタッフの先生に対する感謝の気持ち、新しい友達ができたことなど、きちんとした文字で詳しく書かれているものも多かったです。一方、中には真剣に考えて回答していないなあというものもありました。「ふり返り」やアンケート、作文・テスト等、それを書いて誰かに見てもらうものは、**真剣にそれに向き合い、よく考えて、丁寧な文字で書いて出しましょう。「読むこと」と「書くこと」は学習する上での基本中の基本なのです。**

「文字は人を表す。」と言います。上手下手ではなく、誠実に文字を書く姿勢を育ててほしいと思います。楷書で丁寧に、自分の考えを書いているアンケートの例を下に示します。一字一字を気持ちを込めて書いていますね。また、先生達の書いたアンケートの一部も紹介します。先生達もいろいろと悩みながら、あなたたちと接しているのです。

勉強はできているつもりだったけれど、土曜日のくで、ニガテや分からないところが分かりました。先生や友達と、話す機会もふえました。しう来は医者になりたいので、もっと勉強をがんばりたいです。

鶴島教室小学4年生

宇和島土曜塾に入って友達と交流できたり勉強に集中することができるので土曜塾はとてもいいところだと私は思います。私はせきかえななどをしたりいろんな人と交流できると思います。

明倫教室小学6年生

ここでは、先生がやさしくて、分かりやすく教えてくれるので、とても勉強がはかどります。分からなくても、分かるようになることが土曜塾に来る度にあって、とてもうれしいです。これは、本当に土曜塾に来て良かったなと思っています！

三間教室中学1年生

各教室の先生達の声～スタッフアンケート

○塾生たちは、とても素直でいいムードでよいと思うが、わからない所を自分でもっと勉強して、分かるようになるうと頑張る力(自ら学ぶ力)にはやや欠けるので、小さな前進をほめて自信をつけさせるよう、励ましていきたい。
(鶴島教室)

○塾生の学力や学習意欲に大きな差があり、1対1でないと全く学習が進まない子もいるので大変である。また、真面目に取り組んでいるが、どこかでつまづいていて困っている子もいる。どの子に対する支援も大切に考えて活動しているが、もっと何とかしたいと思っている。
(明倫教室)

○リーダーに保護者とのやりとりや学年毎のミニテストの作成、進度の連絡等を行ってもらい、教えることに集中できて、とてもありがたい。

○欠席の塾生達は、いろいろな事情があるので仕方ないと思うが、できるだけ出席できるような、何かよい仕組みがあるとよい。
(和霊教室)

○担当する塾生が素直に喜び、学習中、自分なりのメモの取り方で理解しようとしている真摯な姿勢が、病人を看護する日々の私に励みを与えてくれている。

○20分しかない英語の時間を、どのように楽しく指導すればいいのかが課題である。
(吉田教室)

○リーダーをはじめベテランスタッフの先生達は、塾生の様子をよく観察し、リラックスさせる声かけ、学習に集中させる声かけ、ゲームを取り入れての学習活動等、いろいろな工夫をされていて、感嘆しつつ見習わせてもらっている。
(三間教室)

○塾生は集中して学習しているのでよいと思う。ただ、各々の学力の差があり、寄り添った指導をするのが難しい。「分かるようになった。」「テストの点がよかった。」と喜ぶ声が聞けるのが嬉しい。
(岩松教室)

小学生の時、夢中になっていた事

鶴島教室・岡田満枝先生

私は、小学生のころ物語の世界に夢中になる子供でした。夜中ふとんの中で懐中電灯をつけて本を読んでいたら、親に見つかり叱られたことがありました。そして、案の定(あんのじょう)視力が落ちました(笑)



中でも、「赤毛のアン」シリーズを3回ほど読み返すほど大好きでした。アンが苦しい状況に立たされたとき、自分自身に言い聞かせていた「明けない夜はない」という言葉は、大人になってからも私を励ましてくれました。

その後は、江戸川乱歩シリーズで推理小説の面白さを知り、さらに「時をかける少女」をきっかけに筒井康隆の作品へ。そして、星新一のショートショートに出会い、SFの世界にどっぷりはまりました。それから、「宇宙戦艦ヤマト」のロマンに心を奪われました。

振り返ってみると、小学生のころから「少し不思議」で想像力(妄想力?)をかき立てられる物語が大好きだったようです。本を選ぶときは、今も昔も作者つながりで読むことが多い気がします。また、小学生時代が一番、時間がたっぷりあったので、暇つぶしに最適でした。

教員になってからは忙しく、ゆっくり本を読む時間がなかなかありませんでした。退職して、少し時間に余裕ができた今、また新しい物語との出会いを楽しみたいと思っています。

さて、土曜塾の子どもたちは、今どんな本を読んでいるのでしょうか？